

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地											
福岡ベルエポック美容専門学校	平成16年3月25日	田中 浩一	〒812-0033 福岡県福岡市博多区大博町4-17 (電話) 092-282-9100											
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地											
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311											
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士										
文化・教養	文化・教養専門課程	ヘアメイク科	平成31年文部科学省 告示第49号	-										
学科の目的	ゲストやクライアントの要望を的確に把握し、対応できる技術と流行に敏感に察知でき、美容・ブライダル業界で活躍できる人材になる。													
認定年月日	平成26年3月31日													
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技								
2	1710時間	0時間	210時間	0時間	0時間	1500時間								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数									
80人	71人	0人	3人	12人	15人									
学期制度	■前期:4月第2週～9月第5週 ■後期:10月第1週～3月第5週		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期テスト(中間テスト・期末テスト)および小テストの成績で総合判断とする。										
長期休み	■学年始:4月1日～4月第1週 ■夏季:7月第5週～8月第4週 ■冬季:12月第4週～1月第1週 ■学年末:3月第3週～3月第5週		卒業・進級条件	学年ごとに修了すべき教科科目の授業に7割以上出席しており、試験に合格している者は科目修了の認定を受け、卒業進級判定会議にてその成果が修了認定すべきものと認められた場合、卒業または進級認定を受ける。										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 保護者を含めた面談による指導		課外活動	■課外活動の種類 学生スタッフ活動(オープンキャンパスでの来校者対応で接客力を学ぶ)、学園祭および体育祭実行委員、業界と連携した企業プロジェクト等 ■サークル活動: 有										
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 結婚式場・ブライダル関連企業 ■就職指導内容 求人案内、履歴書作成支援、就職模擬面接、校内企業説明会の実施 ■卒業生数 : 23 人 ■就職希望者数 : 21 人 ■就職者数 : 21 人 ■就職率 : 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 91.3 % ■その他 進学(1人)、卒業のみ希望(1人) (平成 30 年度卒業生に関する 令和元年5月1日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3級ブライダルコーディネーター技能検定</td> <td>②</td> <td>22人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 学園グループのコンテストの全国大会にて、ブライダルヘアメイクフォト部門で受賞			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	3級ブライダルコーディネーター技能検定	②	22人	10人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数											
3級ブライダルコーディネーター技能検定	②	22人	10人											
中途退学の現状	■中途退学者 2 名 平成30年4月1日時点において、在学者54名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者52名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的事情、目的意識の低下、人間関係 ■中退防止・中退者支援のための取組 中退防止:担任・学科長・スクールカウンセラーによるカウンセリング 中退者支援:グループ姉妹校への再入学、自校内学科への転科の実施		■中退率 3.7 %											
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 希望者に対し特待生試験を実施し、採用者には授業料の一部を減免している。(家庭の経済状況は考慮していない) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載													
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有的場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)													
当該学科のホームページURL	https://www.fbe.ac.jp/gakka/hair_make													

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会において業界ニーズを把握した上で、卒業後3年後の到達目標(養成目的)と卒業時における到達目標(教育目標)を設定し、カリキュラム編成を行っている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

本校の教育課程編成委員会は、学校関係者評価委員会による評価内容を基に教育内容、教育方法の客観的評価と改善提案を行う。この改善提案は企業連携のもと、実践的かつ専門的な観点から業界から求められる教育について検討する。本委員会にて提案・助言があった事項については、教務部長が中心となり、本校FDC、当該学科職員と共にカリキュラムの構築や教育内容の改善・工夫を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年5月1日

名前	所属	任期	種別
佐野 立興	美職人 (ROOM☆ オーナー)	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
松本 江里子	M's hair&make-up DIRECTOR・MANAGER	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
古島 昭博	学校法人 滋慶学園 常務理事	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
田中 浩一	福岡ベルエポック美容専門学校 学校長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
岩村 勇	福岡ベルエポック美容専門学校 運営本部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
菅原 大輔	福岡ベルエポック美容専門学校 事務局長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
仁村 将大	福岡ベルエポック美容専門学校 教務部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
岩永 宙成	福岡ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク科	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
鬼丸 春菜	福岡ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク科	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
久原 靖司	福岡ベルエポック美容専門学校 キャリアセンター	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

■年間開催数:2回 ■開催時期:5月、10月

(開催日時)

第1回 令和元年5月20日 13:00～15:00

第2回 令和元年10月21日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

専門教育に関しては授業カリキュラムから産学連携での実習までの中で学生の成長を促進していく為の取り組み方や手法を助言を頂戴した。また、今後の入学してくる学生の傾向を分析、共有をして頂き、教育・広報に対して短期的視点の対策から中長期的視点の対策までの計画をたてた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

建学の理念にも掲げている実学教育の実現のため、即応力を身に付けるために企業と連携をして教育提携を結び、実践的な技術教授のための授業内容を構築する。また業界外部講師を招聘し、業界ニーズに応えられる実践的な技術・知識を学生に提供することを基本方針とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

美容業界の実務者と実習ならびに演習授業における教育目標、授業実施方針、評価の基準点などを事前に打合せを実施し授業の質の均一化を図る。また美容関係業界の実務者による実習指導の実施を通じて卒業後即戦力となる技術の享受を行う。さらに定期的に科目連絡会を実施することで指導内容を精査し産学協同の質の高い授業を展開する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
アシスタントプログラムⅠ	ヘアメイク現場で必要な知識、スキルを身につける	有限会社ガイプロジェクト
プロフェッショナルへの道Ⅰ	美容業界で即戦力として活躍できるスキルを身につける	C-Make
就職講座Ⅱ	社会人としての自覚を持ち、社会人基礎力を身につける	M's hair&make-up
スチール撮影演習Ⅱ	作品制作で得た技術をもとに企画から実行まで全てできるようにする	株式会社ビーサイド
作品制作Ⅲ	2年間の集大成としてヘアメイクの技術を発揮する	株式会社CGE

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 学園の定める教員研修規定において、教員の授業内容・教育技法の改善ならびにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の基本方針とする。	
(2) 研修等の実績 ① 専攻分野における実務に関する研修等 昨今のブライダル業界におけるコンプライアンスの対応について、美容師法、著作権、クーリングオフについて情報を確認し、実習や演習授業に活かす目的とする。 ・ブライダル法務セミナー(著作権と美容法について) 平成30年5/22(火)14:00～17:00 ウェディングアイランド マリゾン アシスタントブライダルコーディネーター検定の変更による、学習指導および卒業支援を踏まえた目的とする。 ・公益社団法人日本ブライダル文化振興協会より】ブライダルコーディネーター技能検定試験説明会平成30年8/24(金)16:00～17:30 九州観光専門学校	
② 指導力の修得・向上のための研修等 教授力、指導力の向上を目的とする研修については一般財団法人 滋慶教育科学研究所と連携し、個々の教育経験、在職期間等を考慮し、それぞれの対象に応じた教職員の研修を行い、研究にも参加している。	
(3) 研修等の計画 ① 専攻分野における実務に関する研修等 ウェディング業界における最新のドレス・メイク・コーディネートについて学生指導における情報知識蓄積を目的とする。 ウェディングスビューティフル協会主催 2019年8月29日(木)、2020年3月17日(火)11:00～16:30 予定 「欧米の最新ウェディングの情報」や、今旬のウェディングスタイルの情報」勉強会	
② 指導力の修得・向上のための研修等 一般社団法人 滋慶教育科学研究所と連絡し、教授方法、学生支援・指導方法に関する種々の研修に参加をしていく。	
4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係	
(1) 学校関係者評価の基本方針 自己点検・自己評価に基き、学校関係者評価委員会を実施する。本委員会は学校の理念を踏まえた上で教育機関としての学校のあり方を客観的に評価し助言を行うことで、適切な教育提供に結びつくようにする。この助言を受け学校はPDCAサイクルに基き分析・検証を行い学校運営の改善に取り組むことを基本方針とする。	
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定システム、
(3) 教育活動	目標の設定、教育方法・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許取得の指導体制、教員・教員組織
(4) 学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、保護者との連携、卒業生・社会人
(6) 教育環境	施設・設備等、防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動、入学選考、学納金
(8) 財務	財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報の公開
(9) 法令等の遵守	関係法令、設置基準等の遵守、個人情報保護、学校評価、教育情報の公開
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、ボランティア活動
(11) 国際交流	
※(10)及び(11)については任意記載。	

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

専門教育に加えて商業知識やコミュニケーション力を高める教育や、職員に対する研修についてもその充実を図るよう要望があり、早速、カリキュラム変更の検討や職員向け研修について受講内容・対象職員の計画を立てるようにしている。

また教育内容に関しては一定の評価を頂けたが、就職支援においては離職率に関して在学中からの学生への就労教育について更なる充実を求められたので、この意見を今後の教育に反映させていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
力武 穂絵	美容師科	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	卒業生代表
築地 美穂	トータルビューティ科	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	卒業生代表
石井 和子	美容師科1年生、2年生 保護者	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	保護者代表
矢ヶ崎 裕和	福岡県立香椎高等学校 校長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	高等学校関係者
春山 大輔	大浜自治協議会 大浜祭り委員会 委員長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	地域関係者
早田 健	福岡ブレンド (lott annibirthオーナー)	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	業界関係者
矢田 綾香	日本化粧品検定 顧問	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(公開方法: ホームページ 公開時期: 委員会終了後随時)

<https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の情報提供は基本的にはホームページを通じて行っている。これは企業をはじめとする業界諸氏についても同様である。提供する情報については学校の紹介に始まり平素の学校教育について、その取り組みを配信している。これにより企業等との連携が生じ、学校教育や就職の支援などの充実につなげていくことを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	開校の目的、建学の理念
(2)各学科等の教育	各学科の入学定員・養成目的、教育システムとカリキュラム体系
(3)教職員	教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習・実技、企業との連携紹介、就職支援の取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	教育活動、企業プロジェクト、校舎・設備紹介
(6)学生の生活支援	学生寮・1人暮らしサポート、就職サポート
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金情報、学費サポートシステム
(8)学校の財務	決算書、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・自己評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	国際交流
(11)その他	社会との取り組み(産学連携)、災害時非常煮の対応

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

■本校ホームページにて公開

URL: <http://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 ヘアメイク科) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			導入教育Ⅰ、Ⅱ	目的意識を高め・目標を設定することができる。	1前 2前	30	2		○		○		○		
○			国際教育	海外の美容文化やトレンド、自国について学び、自身の視野を広げ、感性を身につける。	1前	30	2		○		○		○		
○			アシスタントプログラムのⅠ、Ⅱ、Ⅲ	ヘアメイク現場に必要な知識・スキルを身につける	1通 2前	90	6		○		○			○	○
○			プロフェッショナルへの道Ⅰ、Ⅱ	美容業界で即戦力として活躍できるスキルを身につける	1前 2後	30	2		○		○			○	○
○			就職講座Ⅰ、Ⅱ	社会人としての自覚を持ち、社会人基礎力を身につける	1後 2前	30	2		○		○			○	○
○			スチール撮影演習Ⅰ、Ⅱ	作品制作で得た技術を活かす	2通	120	8				○	○		○	○
○			作品制作Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	作品制作の基礎を理解し、必要な知識スキルを身につける	1後 2通	90	6				○	○		○	○
○	○		ヘアメイク演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	ヘアメイク現場に必要な知識・スキルを身につける	1通 2通	240	16				○	○		○	
○			メイクアップ演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	メイク基礎を理解し、相手にあったメイクができるようになる。	1通 2通	240	16				○	○		○	
○			ヘアスタイリング演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	ヘアセットの基礎技術を身につけ相手にあったヘアスタイリングができるようになる。	1通 2通	240	16				○	○		○	
○			ネイルケア&アート演習	資格取得を目指し、ヘアメイクとしてのネイル技術・知識を身につける	1前	60	4				○	○		○	
○			きもの演習	資格取得を目指し、着物文化を理解する	1前	60	4				○	○		○	○

○		パーソナルカラー演習	資格取得を目指し、基礎知識を目指す	1後	60	4				○	○			○	○
○	○	トータルブライダル演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	ブライダル業界の基礎知識を身につけ、業界で必要とされるマインドを習得する。	1通 2通	240	16				○	○			○	
○		サロンワーク演習	サロンワークの基礎を身につける	2前	60	4				○	○			○	
	○	ファッションコーディネート演習Ⅰ、Ⅱ	自分に合ったスタイル、相手に合うスタイルを見つけられる感性・感覚を身につける	1後 2前	120	8				○	○			○	
	○	デザイントレーニング	デザイン基礎を身につけ、伝える力を養う	2後	30	1				○	○			○	
	○	ブライダルヘアメイク演習Ⅰ、Ⅱ	ブライダルヘアメイクのトータルコーディネートができるようになる。	1後 2前	120	8				○	○			○	
	○	コンテストショーヘアメイク演習Ⅰ、Ⅱ	コンテストを想定した作品を創れるようになる	2通	120	8				○	○			○	
	○	ウェディングプランニングⅠ、Ⅱ	結婚式におけるプランニングを理解し、提案できるようになる。	2通	120	8				○	○	○	○	○	○
	○	ブライダルコーディネート検定	国家検定資格取得を目指し、基礎知識を身につける	2後	30	1				○	○			○	
合計			45科目	1710単位時間(114単位)											
卒業要件及び履修方法										授業期間等					
(学則より抜粋) 第22条 第2項 学校長は卒業・修了の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業進級判定会議を開催し、審査の上判定する。この場合、所定の教科課目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業または進級認定をしなければならない。										1学年の学期区分			2期		
										1学期の授業期間			15週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。